

山麓探偵団通信

2,3月号

野鳥のウンが、例年より少し遅い時期なのですが、桜の花芽をついばみにきています。それも団体さんで。

オスのサーモンピンクの胸元と可愛らしい鳴き声に、ついつい見とれてしまう桃の節句のきょう、いい日和です。

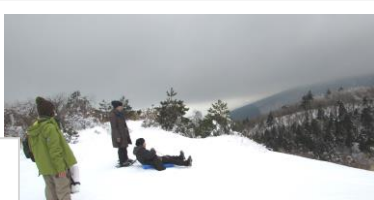
さて、二月六日の探偵団は、戸高雅史さんを団長に、加古坂神社奥の旧スキー場周辺を、スノウシューやアイゼンをつけて、散策しました。

二月二〇日の青空レストランは、大雨のため、残念ながら中止となりました。どうやら、天にお住いの方が、雪乞いと雨乞いとを、聞き間違えたのかもしれない。

〈雪の中に身を置く一日〉

■戸高雅史団長の「講評」

情報で体を動かすのではなく、体が自ずと動く体験を、共有する一日でした。動的な中の静寂を感じ、富士山が最後に姿を現してくれたのがよかったですと思います。



◆ 参加者の感想

Y・久々の冬山を歩き、たいへん気持ちの良い一日でした。

M・自然のつくる景色はすごいなとあらためて思いました。なかなか入れない冬の雪山ですが、ソリで遊べたりして、楽しかったです。

S・木の枝の美しさが印象的でした。ソリ遊びは楽しかったです。

K・雨氷の美しさに魅せられました。また、昼食時のスリル（樹木の枝上の氷が気温の上昇で落下する危険に遭遇）に、はらはらしましたが、楽しかったです。

A・久しぶりの冬山を、予想以上に歩けたので、よかったです。

J・決して人間の造りだせない世界に触れ、雨氷のアーチやX型などに見入りました。視線を低くして、まるでシカになった気分を味わいました。

M・雨氷の枝同士が、風に吹かれて何ともいえない音を奏で、はじめて触れる真冬の世界に魅せられました。

H・天然の世界に足を踏み入れて、その美しさに感動しました。

N・雨氷の枝同士の、シャラシャラという風に鳴る音が印象的でした。ソリ遊びが楽しかったです。

特報

戸高雅史さん監修の行動食発売

「フォレストアップ」

発売元は創健社
40グラム 530円



第244回「探偵団活動」案内

精進湖ハノラマ案内

映像カメラマンの伊藤浩美氏を団長に、精進湖畔から五〇分くらい上がったところにある、パノラマ台に行きましょう。

・日時 四月七日（木）午前十時
・集合 なるさわ道の駅

・参加費 一八〇〇円
・持ち物 昼食・防寒着・雨具・敷物・任意でストック・ポケット図鑑など

*三日前までに連絡ください

発行 山麓探偵団 事務局

山梨県山中湖村平野一六九八

電話 〇五五五・六五・七〇二三